

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和 6年3月29日

計画の名称	和歌山市都市・地域交通戦略推進計画												
計画の期間	平成30年度 ~ 令和2年度(3年間)							重点配分対象の該当					
交付対象	和歌山市												
計画の目標	・拡散型都市からの脱却によって中心部からの人口流出の抑制をめざし、本市の都市計画マスタープラン及び立地適正化計画で掲げる将来都市像である多極型のコンパクトなまちづくりの実現を図る。 ・都市機能の集積と都心居住の誘導を行う中心拠点の形成、並びに中心拠点と各生活拠点を結ぶネットワークの形成を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	121.0	A	121.0	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0.0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28・29)	中間目標値	最終目標値 (R2末)
1	市内全体人口に対するまちなか居住人口の維持比率の増加を目指す。(8.89%(H28)から9.08%(H32末)を目指す。) まちなか居住人口比率	8.89%	%	9.08%
2	現状の地価(経済動向を示す指標)の上昇を目指す。(和歌山5-7)(調査年月日:H29.1.1) 公示地価(国土交通省地価公示・都道府県地価調査)	129000円/㎡	円/㎡	130000円/㎡
3	市民図書館の利用者数の増加を目指す。 市民図書館の利用者数(平均)	660人/日	人/日	990人/日
4	まちなか空き地面積の削減を目指す。 まちなか空き地面積	269309㎡	㎡	268000㎡
5	まちなか建築確認延床面積の増加を目指す。 まちなか建築確認延床面積	27423㎡	㎡	32000㎡

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
和歌山市	令和5年度
	公表の方法
	和歌山市ホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	本計画事業の駐車場整備をはじめ再開発や公共施設の再編、大学の誘致等の取り組みにより、まちなかで子育て世代を中心とした人口の社会増や公示地価の上昇、民間投資が進んだことにより建築確認延床面の増加など、一定の効果があらわれている。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況(必要に応じて記述)	

○特記事項(今後の方針等)

--

○目標値の達成状況			
番号	指標(略称)		目標値と実績値に差が出た要因
	目標値/実績値		
1	市内全体人口に対するまちなか居住人口比率の増加を目指す。		
	最終目標値	9.08%	目標値には達しなかったが、本計画事業の駐車場整備をはじめ再開発事業や本町認定子ども園及び子ども総合総合支援センターの複合施設の整備や、大学の誘致等により、まちなかの人口は転入超過となり、主に子育て世代や若者が増加しつつある。
最終実績値	8.89%		
2	現状の地価(経済動向を示す指標)の上昇を目指す。(和歌山5-7)		
	最終目標値	130,000円/㎡	
最終実績値	133,000円/㎡		
3	市民図書館の利用者数の増加を目指す。		
	最終目標値	990人/日	
最終実績値	2166人/日		
4	まちなか空き地面積の削減を目指す。		
	最終目標値	268,000㎡	
最終実績値	280,563㎡		
5	まちなか建築確認延床面積の増加を目指す。		
	最終目標値	32,000㎡	
最終実績値	44,731㎡		